

2013 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、**HB**の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の史料を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

倭人は、^{たいほう}帯方の東南大海の中に在り、山島に依りて^{こくゆう}国邑を為す。旧百余国、漢の時、^{ちようけん}朝見する者有り。今、^{しやく}使訳通ずる所三十国。郡より倭に至るには・・・邪馬台国に至る。女王の都する所なり。・・・倭の水人、好んで沈没して、魚蛤を捕らえ、文身するも亦以て大魚水禽を^{おき}厭えんとしてなり。^①後にようやく以て飾りとなす。・・・倭^②の地は温暖、冬夏生菜を食す。皆、徒跣なり。屋室有り。父母兄弟、臥息するに処を異にす。・・・其の俗、^{こうらい}挙事、^{うんい}行来に、^{すなわ}云為する所有れば、^{すなわ}軋ち骨を灼きて卜い、以て吉凶を占る。・・・倭国乱れ、相攻伐すること歴年、乃ち一女子を共立して王と為す。名を卑弥呼と曰う。鬼道を事とし、能く衆を惑わす。・・・^{けいしよ}景初二年六月、倭の女王、^{たいふ}大夫難升米等を遣わし、郡に詣らしめ、天子に詣りて朝献せんことを求む。・・・其の年十二月、詔書して倭の女王に^{こたえ}報て曰く、「・・・汝の献ずる所の男生口四人・女生口六人・班布二匹二丈を奉り、以て到る。汝の在る所は、遙かに遠きも、乃ち使を遣わして貢獻す。これ汝の忠孝、我、甚だ汝を哀しむ。今、汝を以て と為し、金印紫綬を仮し、装封して帯方の太守に付し、仮授せしむ。・・・銅鏡百枚・真珠・鉛丹各々五十斤を賜い・^{ことごと}悉く以て汝が国中の人に示し、国家、^③汝を哀しむを知らしむべし。故に鄭重に汝に好き物を賜うなり」と。・・・卑弥呼、^{すで}以に死し、^④大いに^{つか}冢を作る。径は百余歩、殉葬する者、奴婢百余人なり。更に男王を立つるも、国中服さず。^{こも}更ごも^{あい}相誅殺し、^⑤当時、千余人を殺す。復、^{また}卑弥呼の宗女 、年十三なるを立てて王と為す。国中、遂に定まる。・・・

(『魏志倭人伝』原文は漢文)

※ 景初二年は景初三年の誤りか。

問1 下線部①に関連して、古墳時代以前の日本の生活に関する説明として、正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 海に囲まれ海洋資源に富む日本列島では、千葉県加曽利貝塚など旧石器時代から貝塚が営まれており「魚蛤を捕」えていたことがわかる。

- イ. 縄文時代早期の神奈川県夏島貝塚から骨角製釣針やイヌの骨が見つかり、「魚蛤を捕」える漁労とともに狩猟が盛んであった様子がわかる。
- ウ. 愛媛県上黒岩岩陰遺跡は縄文時代から弥生時代にかけての遺跡で、「文身」とよばれる抜歯の痕跡が残る人骨が多数出土している。
- エ. 縄文時代の土偶や弥生時代の絵画土器から「文身」とよばれる抜歯で身を飾る風習があったことがわかる。
- オ. 古墳時代にも神奈川県三浦半島の鳥浜貝塚など海浜部に貝塚があり、特徴的な出土人骨から「水人」、すなわち海女が存在したことがわかる。
- 問2 下線部②に関連して、縄文時代から古代に至る集落遺跡で一般に発見される「屋室」、すなわち住居は考古学的に何とよばれるか。その名称を記しなさい。
- 問3 空欄Aに入る語として、正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 邪馬台国王
イ. 漢委奴国王
ウ. 親魏倭王
エ. 倭国女王
オ. 征東將軍
- 問4 下線部③に関連して、景初三年の銘を持つ島根県神原神社古墳出土鏡など、卑弥呼が贈られた「銅鏡百枚」に当たる可能性が指摘されることもある、特殊な形態と画像をもつ銅鏡は何か。その名称を記しなさい。
- 問5 下線部④に関連して、「冢」は墳丘を意味する。近年の年代測定の結果などから、この墓に相当する可能性が指摘されている奈良県桜井市にある最古の前方後円墳は何という古墳か。その名称を記しなさい。
- 問6 下線部⑤に関連して、実際に「殉葬」が行われた形跡は日本では見つかっていないが、殉死の替わりとして作られるようになったとの伝承が『古事記』に記されている、古墳に配列された状態で出土する文物がある。そのうち、古墳出現期からみられる、器台形土器から発達した初期のものは何とよばれる遺物か。その名称を記しなさい。

- 問7 空欄Bに入る人物の名を記しなさい。
- 問8 この史料に記された時代の後、倭の五王と呼ばれる5人の大王が中国に使いを送っている。このうち、武と考えられる大王の名が銘に記されている鉄剣・鉄刀が古墳から出土している。一つは稲荷山古墳であるが、もう一つは何という古墳か。その名称を記しなさい。
- 問9 中国大陸や朝鮮半島との関係は古代の日本に様々な影響を及ぼすことが多かった。6世紀初めには新羅と結んだ筑紫国造が大規模な戦乱を起こした。この乱を何とよぶか。その名称を記しなさい。
- 問10 先史・古代の日本列島に住む人々と、中国大陸や朝鮮半島との交流についての説明として、正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 3万5千年ほど前の旧石器時代の初めに、組み合わせ式石器である「細石器」が、朝鮮半島から日本列島にもたらされた。
- イ. 炭素14年代法によると1万6千年前に縄文文化に属する三内丸山遺跡が出現し、中国南部長江下流域からイモガイ製貝輪がもたらされるなど、縄文時代を通じて活発な交流があった。
- ウ. 弥生文化は、大陸から水田稲作をはじめ、大陸系石器、青銅製の銅鐸、馬などがもたらされて始まった。
- エ. 古墳時代中期には朝鮮半島の影響を受けた横穴式石室が出現した。なお、日本に特有と考えられていた前方後円墳について、近年朝鮮半島にも存在している可能性が指摘されている。
- オ. 古代中国では、日本人を「倭」、その国を「倭国」とよんだ。7世紀末から8世紀初めに「日本」と自称し、隋の歴史書でも「日本」と記される例が現れた。

II 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 大宝・養老律令における官制は、中央には二官八省と総称される官司が設けられ、地方には国・郡・里(のち郷)が置かれた。^①その他、都をはじめ、外交や軍事に重要な地域には特別な官司が置かれた。すなわち、都には左右京職、難波宮のある地(今日の大阪府)には 、筑紫(今日の福岡県)には大宰府が設けられた。各官司の幹部職員は長官・次官・判官・主典の四等級(四等官)から構成され、四等官の表記は官庁の種類によって異なった。たとえば八省の長官は卿、国司の長官は と表記された。

国司には中央の官人が任命されて赴任した。任期は6年(のち4年)で、国内の民政や司法など全般を担当し、国造などの系譜をひく在地豪族である郡司を指揮して、国家の政策を末端にまで及ぼし、また租庸調をはじめとする税収の確保にあたった。国司は中央集権体制を維持する上で重要な地位にあり、大きな権限が与えられていたのであるが、次第に地位を利用した不正が目立つようになり、地方政治の乱れを招いた。たとえば、令により国司が公民を1年のうちの一定日数、道路や池堤の修築など公用に使役できると定められていた雑徭は、本来の趣旨と異なる国司の私用に徴発する場合も多く、公民にとって大きな負担となった。このため、藤原仲麻呂政権下の757年には、令に規定された使役日数の上限を半減する政策がとられた。^④仲麻呂失脚後、令制に戻されたが、地方政治の立て直しをはかる桓武天皇の795年に再び半減された。桓武天皇は他にも国司の交代にともなう事務引継ぎを監督する勤解由使を設けたり、『交替式』を編纂するなど、地方政治の改革に取り組み、以後の時代にも継承されたが、地方財政等を根本から立て直すことは難しかった。

問1 下線部①について、二官とは太政官ともう一つの官司をいう。その官司の名称を記しなさい。

問2 下線部②について、「郡」という表記は大宝令制以後に用いられたとみられている。それ以前の「郡」に相当する行政単位は何とよばれていたか。その名称を記しなさい。

問3 下線部③に関連して、左右京職の職務分担の境界となっていた、平城京や平安京において、京城の中心を南北に貫く幅の広い道路を何というか。その名称を記しなさい。

問4 空欄Aに入る官司の名称を記しなさい。

問5 空欄Bに入るもっとも適切な語を記しなさい。

問6 下線部④について、正丁の場合、半減された日数を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 15日 イ. 20日 ウ. 25日 エ. 30日 オ. 35日

2 奈良時代を通じて政界の有力氏族となった藤原氏は、4家に分れて勢力を競った。平安時代に入ると、当初は桓武天皇の擁立に功績のあった藤原百川ら式家が優勢であったが、北家の藤原冬嗣が平城上皇と藤原薬子による政変に際して蔵人頭に任命されるなど、嵯峨天皇の信頼を得て台頭し、以後北家の系統が政界の主流となっていく。冬嗣の子の良房は、承和の変(842年)で橘氏、伴氏をしりぞけ、娘の明子と仁明天皇との間に産まれた惟仁親王を皇太子とし、858年に、わずか9歳で即位させた(清和天皇)。良房は、清和天皇の外祖父として実質上の摂政となり、天皇にかわって政治をとった。その後、年に起きた^⑦応天門の変を契機に政敵である伴善男を失脚させ、権力を確立した。ついで良房の養子基経は、清和天皇を継いだ陽成天皇を、甥にはあたるが素行に問題があることから退位させ、外戚関係にならない光孝天皇を擁立した(884年)。これに恩義を感じた光孝天皇は基経を関白とした。

問7 下線部⑤について、藤原不比等の子で、北家の始祖とされる人物は誰か。その名を記しなさい。

問8 下線部⑥に関連して、清和天皇治世の869年に、2011年3月11日に発生した東日本大震災に匹敵する大きな地震と津波が起こり、陸奥国一带に大きな被害をもたらした。この地震は当時の元号(年号)をもって呼ばれている。その名称を記しなさい。

問9 空欄Cに入る西暦年を記しなさい。

問10 下線部⑦について、この時、伴善男によって失脚を謀られた左大臣は誰か。次の中から一人選び、その記号をマークしなさい。

ア. 源信 イ. 源融 ウ. 源順 エ. 源定 オ. 源常

III 次の1から3の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 日本の世界遺産のうち、平泉・熊野・厳島神社は院政期の文化と関わりが深い。

平泉には が建立した中尊寺やその子基衡が建立した毛越寺などがある。このうち中尊寺は合戦の犠牲者の霊を慰めるために建立された。平泉文化には仏教思想に基づいて平和を希求するという特色がある。

熊野には本宮大社・速玉大社・那智大社の熊野三社があり、山伏や僧侶の修行の場となっていた。上皇(法皇)や貴族の参詣も盛んで、^①白河・鳥羽・後白河・後鳥羽の上皇(法皇)らはあわせて100回近く訪れた。

厳島神社は安芸守だった平清盛の崇敬を受け、平氏との結びつきが深まった。清盛は社殿を造営するなど神社の復興に力を注ぎ、^②平氏一族は繁栄を祈願して經典類を奉納した。この平家納経は院政期の文化を代表する一つである。

問1 空欄Aに入る人物の姓名を記しなさい。

問2 下線部①について、熊野のような山中で修行を積むことによって呪力を得られるという信仰があった。密教や山岳信仰などが結びついて成立した、この呪術的信仰の名称を記しなさい。

問3 下線部②について、平氏に関する説明として正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 平将門は、一族内の争いから国司と対立するようになり、国府を攻め落として関東地方の大半を占領したが、平貞盛・藤原秀郷らによって討たれた。

イ. 平忠常は、房総半島で反乱を起こしたが、源頼義が鎮圧に乗り出すと、これに降伏した。以降、関東地方の平氏は衰退した。

ウ. 平正盛は、源義家の子義親の反乱を鎮圧したほか、白河上皇の西面の武士に登用され、平氏の武名を上げた。

エ. 平忠盛は、瀬戸内海の高橋を討討し、鳥羽上皇の近臣として重用された。日宋貿易にも関わり、音戸の瀬戸の開削を行った。

オ. 平清盛は、保元・平治の乱に勝利し、武士として初の太政大臣になった。また、娘徳子を後白河上皇の後とし、安徳天皇の外祖父となり権力を握った。

2 承久の乱後、三人の上皇を配流に処した鎌倉幕府は、皇位継承に干渉するようになった。[B] 天皇は幕府の支持を得て皇位に就き、幕府はその皇子宗尊親王を将軍として迎えた。[B] の没後、皇統は大覚寺統と持明院統に分かれ、皇位をめぐり対立するようになった。幕府はこれを調停し、二つの皇統から交代で天皇を出すという方式を解決策として提示した。^③

大覚寺統から皇位に就いた後醍醐天皇は建武の新政を進めたが短命に終わり、^④持明院統の光明天皇を擁立した足利尊氏が室町幕府を樹立した。吉野に逃れた後醍醐は自らの正統性を主張し、南北朝の対立が始まった。^⑤

南北朝の対立は足利義満の仲介によって解消した。南朝の [C] 天皇から北朝の [D] 天皇へ神器が渡り、以後両朝から交代で天皇を出すことにしたが、結局それは実現しなかった。

問4 下線部③のような方式を何とよぶか。その名称を記しなさい。

問5 下線部④について、建武の新政の失敗や都の混乱ぶりなどを八五調・七五調で述べた風刺文を何とよぶか。その名称を記しなさい。

問6 下線部⑤について、幕府の財政基盤の一つとなっていた直轄領の名称を記しなさい。

問7 空欄B・C・Dに入る人物の組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. B = 後嵯峨 C = 後小松 D = 後龜山

イ. B = 後堀河 C = 後龜山 D = 後小松

ウ. B = 後嵯峨 C = 後龜山 D = 後小松

エ. B = 後堀河 C = 後嵯峨 D = 後小松

オ. B = 後堀河 C = 後小松 D = 後龜山

3 南北朝期以降、各地域に土着した有力武士は国人とよばれた。地縁的なつながりを強めた彼らは国人一揆を結成し、地域権力の担い手として成長していった。

^a嘉吉の乱後、室町幕府の将軍の権威が低下し、幕府や守護大名の支配は揺らいでいった。やがて、関東では^b享徳の乱が勃発し、鎌倉府の支配体制が崩れ、京都では^c応仁の乱が起こり、幕府の権力が弱体化した。こうした戦乱は守護大名を衰えさせ、

自らの領国支配が危うくなる事態も生じていった。

下剋上の風潮が強まると、守護大名にとってかわる実力者が現れた。たとえば、有力守護大名だった大内氏は重臣陶晴賢に領国を奪われ、安芸国の国人出身の

E はその陶晴賢を破って戦国大名に成長した。戦国大名は分国支配を進める中で、国人や地侍を家臣団に組み込んで軍役を負担させた。

問8 空欄Eに入る人物の姓名を記しなさい。

問9 下線部⑥について、軍役の負担は貫高が基準となっていたが、貫高を把握するため、戦国大名が領内の家臣等に報告させて行った土地調査を何とよぶか。漢字4字で記しなさい。

問10 ある地域で畠山氏が二派に分かれて戦っていたのに対し、国人たちが結束して両軍の退去を求め、以後8年間、その地域の自治的支配を実現した。この出来事が起こった時期として正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 波線部 a 以前 イ. 波線部 a と b の間 ウ. 波線部 b と c の間
エ. 波線部 c と d の間 オ. 波線部 d 以降

IV 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 「近来、諸侯大小となく、国用不足して貧困すること甚だし。家臣の俸禄を借る事^①、少きは十分の一、多きは十分の五六なり。それにて足らざれば、国民より金を出さしめて急を救ふ。猶足らざれば、江戸・京・大坂の富商・大賈の金を借る事、年々に已^{やま}ず。借るのみにて還すこと罕^{まれ}なれば、子又子を^{うみ}生て宿債増多すること幾倍といふことを知らず。」

上の史料は、が著した『経済録拾遺』の一部である。大名の江戸藩邸では、主として年貢米を換金して物資を購入していたので、新田開発等による米増産により米価が次第に低落すると不利益をこうむった。また、参勤交代や幕府から命じられる土木普請も藩財政にとっては大きな負担となったため、諸藩は家臣の俸禄を借り上げたり、三都の商人から借金をしたりせざるを得なかった。

※引用史料の語注 「国用」＝藩の費用(経費)。

「国民」＝藩領国の民。

「大賈」＝大商人。

「子又子を生て」＝利子(利息)が利子を生んで。

「宿債」＝積み重なった債務。

問1 下線部①について、多くの藩では、近世前期に家臣への給与制度は俸禄制に移行した。それより以前に一般的であった、領地の支配権を家臣に与える制度の名称を記しなさい。

問2 下線部②について、元禄期には三都の繁栄を背景に有力な豪商が出現した。その内、「現金かけ値なし」の商法で知られた江戸の呉服店を、次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 紀伊国屋 イ. 奈良屋 ウ. 鴻池屋

エ. 越後屋 オ. 三河屋

問3 空欄Aに入る人物は荻生徂徠の門人で、護園学派の儒者である。この人物の姓名を記しなさい。

問4 下線部③について、財政難で苦しんだのは諸大名だけでなく、幕府も同様であった。徳川吉宗が参勤交代の負担を軽減することと引き替えに諸大名に命じた、幕府財政支援を意図した法令の名称を記しなさい。

問5 近世前期には儒者を登用するなどして藩政改革に取り組んだ藩も多い。その内、閑谷学校を開き、治水・新田開発等にも取り組んだ大名を、次の中から一人選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 保科正之 イ. 池田光政 ウ. 加藤清正
エ. 前田綱紀 オ. 徳川光圀

2 「やせがえる 負けるな一茶 ここに有り」

「雀の子 そののけそののけ 御馬が通る」

これらは、いずれも北信濃出身である俳人小林一茶の句である。一茶は子供や動物など弱者に温かい眼差しを向けた句でよく知られ、生涯で2万を越える句を残した。このような大量の句作は、文学的に見れば駄作も混じっているとわざるを得ないかもしれないが、歴史学的に見れば、社会の様々な事象をとりあげて詠んでいる点で貴重とすることができる。

一茶が盛んに活動した文化・文政期は江戸時代の一つの転換期であった。欧米列強の中でもっとも早く日本の脅威となったのはロシアで、ラクスマンに引き続き、1804（文化元）年に B が長崎に来航して通商を求めたが、幕府は受け入れなかった。一茶はこれに強い関心を抱き、「梅が香や おろしやを遣す^{はわ} 御代^{みよ}にあふ」（おろしや＝ロシア）など自国意識の強い句を詠んでいる。「けふからは 日本の雁ぞ 楽に寝よ」の句も、シベリアから飛来する渡り鳥に向かって日本の優越意識を前面に出して呼びかけた例である。

「^{（蝶）}さま付に 育て上げたる 蚕かな」は、養蚕業が次第に盛んになり、それが農家の重要な収入源となる中で、人々が「御蚕様」などと呼んで蚕を大切にされた様子を描いている。「世の中は どんと直る どんとかな」は、どんと焼き（左義長のこと、村で行う小正月の火祭り行事）の火に託して、高まる「世直し」願望^⑥をうたったものである。一茶は、「世直し」の語を含む句をたくさん残している。まさに「時代をよむ俳諧師」と呼ぶにふさわしい人であった。

(本文中の俳句は、読みやすさを考慮して表記を一部改変した)

問6 下線部④について、一茶の故郷である信濃国柏原からあまり遠くない越後国塩沢からは、縮商人であり、文人でもある鈴木牧之が出た。牧之の主著である、雪国の自然や生活を描いた書物の書名を記しなさい。

問7 空欄Bに入る人物の名を記しなさい。

問8 一茶は句作のために古典研究にも励んで国学を学び、本居宣長の著書も読んでいた。宣長の著書で、日本の代表的な古典に関する全44巻におよぶ注釈書の書名を記しなさい。

問9 下線部⑤について、蚕種・生糸はこの後、幕末日本の重要な輸出品の一つになる。1860年に幕府は、五品江戸廻送令を発して生糸を含む重要5品目の開港場直送を禁じているが、その5品目にあてはまらない物を、次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 雑穀 イ. 蠟 ウ. 呉服

エ. 木綿 オ. 水油

問10 下線部⑥について、現実社会の苦しい生活から救済・解放されたいと願い、この世を改め、新たな世を迎えたいと思う意識が人々の間で高まる中、幕末には民衆宗教が広がりを見せた。このような幕末から明治初期にかけて創始され、明治政府から公認された、天理教・黒住教・金光教等を含む13派の神道を何とよぶか。その名称を記しなさい。

- V 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 柳河春三により1867年に江戸で創刊された『西洋雑誌』は、日本初の民間啓蒙雑誌といわれており、論述の内容は社会事象のみならず、哲学・宗教から自然科学にわたっている。また、1873年に の提案により、西洋の学会にならって結成された明六社は、翌年から毎月2、3回『明六雑誌』を刊行した。この雑誌は政治・経済・法律・宗教・教育・風俗などあらゆる分野をとりあげ、日本最初の総合雑誌ともいわれており、啓蒙思想の紹介宣伝に貢献した。

しかし、このころ自由民権論が急速に高まり、民権運動家たちが雑誌や新聞で活発に政府を攻撃するのに対し、政府は 年に、讒謗律や新聞紙条例などを制定して、これを厳しく取り締まった。そのため、明六社の活動はふるわなくなり、『明六雑誌』も廃刊となった。

自由民権運動が下火になったころ、徳富蘇峰は1887年に を創設して、雑誌『国民之友』を刊行し、政府が条約改正のためにおこなった欧化政策を、貴族的欧化主義と批判した。そして、一般国民の生活の向上と自由の拡大のための、平民的欧化主義の必要を説いた。一方、三宅雪嶺・杉浦重剛・陸羯南ら (1888年設立)のグループは、雑誌『日本人』を刊行し、西洋文化の無批判な模倣に反対して、日本固有の伝統のなかに価値の基準を求め、それを基礎に国民国家をつくりあげようとする、いわゆる国粹保存主義を説いた。『日本人』は、1907年に『日本及日本人』と改称した。

問1 空欄Aに入る人物の説明として誤っているものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 伊藤博文内閣の文部大臣に就任し、学校令を制定した。

イ. 外交官として活躍し、初代のアメリカ公使のほかに、清国公使、英国公使などを歴任した。

ウ. ルソーの『社会契約論』の一部を漢訳した『民約訳解』を刊行した。

エ. 薩摩藩よりイギリスに派遣され、ロンドン大学に入学したが、その後渡米した。

オ。「廃刀案」を建議して士族層の非難を浴びると、政府の重職を引責辞職した。

問2 空欄Bに入る西暦年を記しなさい。

問3 空欄CおよびDに入る思想結社の名称を、それぞれ記しなさい。

2 原敬内閣は普通選挙を時期尚早とする立場をとり、普選運動を分裂させ、労働運動や社会主義運動などに激しい弾圧を加えた。1921年11月、原首相が東京駅頭で暗殺され、蔵相であった が内閣を組織するが、与党立憲政友会の内部対立で総辞職した。1922年6月に成立した加藤友三郎内閣は、貴族院に基盤をおく超然内閣であったが、立憲政友会もこれを支持し、加藤内閣の下で軍縮が実行され、 からの撤兵もおこなわれた。加藤首相の病死にともない、1923年9月1日の関東大震災の翌日に、第二次 内閣が成立した。

同内閣が、1923年12月に起こった事件の責任を負って総辞職した後、貴族院の勢力を背景に清浦奎吾が内閣を組織したが、^①憲政会・立憲政友会・ の3党は、世論の支持を得て特権官僚反対、政党内閣制確立、普選断行、貴族院改革、行政整理などをスローガンとして、清浦内閣打倒を目指す第二次護憲運動を展開した。1924年5月の第15回総選挙で護憲三派が圧勝し、清浦内閣が総辞職して、第一党となった憲政会総裁の加藤高明を首相とする護憲三派内閣が成立した。翌1925年3月、加藤内閣は念願の普通選挙法を成立させ、ほぼ同時に を制定して、激化する社会運動にそなえた。8月には護憲三派が分裂し、憲政会の単独内閣として第二次加藤高明内閣が成立した。

以後、憲政会（1927年に政友本党と合同して立憲民政党となる）と立憲政友会が交代で政権を担当する「憲政の常道」が続いたが、1932年に犬養毅内閣が倒れ、^②政党内閣は崩壊した。

問4 空欄Eに入る人物の姓名を記しなさい。

問5 空欄Fに入る地名を記しなさい。

問6 空欄Gに入る人物の姓名を記しなさい。

問7 下線部①について、事件の名称を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 亀戸事件 イ. 甘粕事件 ウ. 大杉事件
エ. 万歳事件 オ. 虎の門事件

問8 空欄Hに入る政党名を記しなさい。

問9 空欄Iに入る法律の名称を記しなさい。

問10 下線部②について、内閣が倒れる理由となった出来事を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 桜会が中心に計画したクーデタ。
イ. 海軍青年将校を中心とするクーデタ。
ウ. 皇道派青年将校を中心とするクーデタ。
エ. 陸軍革新派将校の秘密結社が起こした事件。
オ. 血盟団員による暗殺事件。

